

何のために働くのか、何のために学ぶのか

—仕事をする意味、学ぶ意味を考えよう—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今週は総選挙がありました。あれほどの自由民主党の大勝にびっくりした方も多と思います。自由民主党が大躍進して政権が民主党から自由民主党に変わるわけですが、本当に大変な選挙だったと思います。一つユニークな見解があります。それは首相を務めた野田さんは素晴らしい人だということです。どういうことかといいますと、消費税を上げることを含めて有権者に対して厳しいことをいろいろ行えば政権は必ず違う政党に移る・この時期に選挙をすれば民主党にとっては大変な状況になるとわかっていながら、近いうちに選挙を実施するという約束を守るためにそれを実行した、それは政治家として潔いという意見です。私も何人かの人に言われて、そのような考えもあるのだなと思いました。皆さんはどのようにお考えでしょうか。それはさておき、これから先、衆議院が召集されて首班指名があり、新しい内閣が始まります。新しく政権を取られた自由民主党は、国民のために、また、世界平和のために尽くしていただければ、こんなに有難い話はないと思います。
3. ところで、新聞・ラジオ・テレビには、今週から再来週にかけて今年の総まとめと来年の予想がたくさん出ると思います。日本をどうするか・世界をどうするか・地域をどうするかという報道が本当にたくさんあると思いますので、それらをゆっくりと読んだり視聴したりしていただいて、自分の頭でどうしたらよいかを考えることも大事ではないかと思います。ぜひ、年末・年始のマスコミに有意義に接していただきたいと思います。
4. 今日は、年末でもあり、もうすぐ新年でもありますので、原点に戻って何のために勉強するのか・何のために働くのかということをお話させていただきます。私は、今週の火曜日（12月18日）に東京都立日本橋高等学校に招かれて、1年1組の生徒さん30名の方に「働く喜び、望ましい社会人としてのあり方とは」というお話をさせていただきました。今日は、それを振り返りながらお話をいたします。
5. 学校から受けた依頼は、「何のために働くのか、働く喜びとは何か」というテーマで話してほしいということでした。これはとてもとても難しい問題です。そこで、「働く喜びとは何か」の手前で、「仕事とは何か」ということをお話しました。
6. 私は、仕事とはお客様のお役に立つことであると思います。お客様のお役に立つとはどういうことかといいますと、お客様の抱えている問題を解決することです。お客様は何のためにものやサービスにお金を払ってくれるのかというと、自分が抱えている問題を解決してもらいたいためだと思います。それが一番基本的な考えではないかと思います。一人ひとりのお客様の役に立つことで社会の役にも立つ、お客様の問題を解決することは社会の問題を解決することに繋がる、私は仕事と社会との関係をこのように考えています。

7. ですから、仕事をするときに一番大事なことは、誰がお客様かをはっきりとさせることと、自分の仕事は何かということをはっきりとさせることだと思います。社会が変わればお客様の問題はどんどん変わっていきますので、どんどん変わっていくお客様の問題は何かを知った上で、ではどのようにしたらお客様の問題が解決できるか・どのようにして解決したらよいかを考えて、その方法をもはやサービスとして具体的に提供するのです。そのときの価格は安ければ安いほどよいのですが、それでは仕事をする側の方は生活できませんので、適正な価格が必要です。また、お客様が提供を受けやすいような場所を選ぶ、お客様とのコミュニケーションを図りながら広告宣伝を上手く活用する、そのようなことも考えながらものやサービスをお客様に提供することが大事だと思います。
8. まとめて言いますと、働く喜びというのは、お客様の問題を解決することでお客様の役に立つ、社会の問題を解決することで社会の役に立つということだと思います。ただ、それだけだと収入がなくて困りますので、生活できるだけの収入を得ることも大事であると思います。また、仕事をやりながら今日は仕事をしてよかった・生きていてよかったと自己実現することも大事ではないかと思います。
9. 今回は高校生に向けてお話をさせていただきましたので、では高校時代に何をしたらよいかということをお話したいと思います。一番大事なことは、学校の勉強、科目の勉強をすべてきちんとやることだと思います。中学校や高校で勉強したことで、上の学校に行ってから、また、社会に出てから役に立たないことは一つもありません。中学生・高校生・大学生の中には、今やっている勉強は社会に出て役に立たないのではないかと、上の学校に行っても役に立たないのではないかと考えている方もいます。しかし、決してそうではありませんので、私は「中学校の勉強はすべて高校で役に立つ。高校の勉強は大学や専門学校、社会で役に立つのでぜひやってくださいね」といつもお伝えしています。
10. そして、「英語・数学・理科・社会・国語だけでなく、美術・音楽・保健体育・家庭科なども全部役に立つ。一番役に立つのは保健の科目で、ちゃんと勉強しておけば健康な状態で長生きができる。社会で役に立たない科目は1つもない、また、人生で役に立たない科目も1つもない。中学校の勉強は中学校でしかできないし、高校の勉強は高校でしかできないので頑張ってすべての科目を勉強してね」とお願いしています。また、学校行事や部活動、当番などもおそらく社会で役に立ちます。教科以外の学校行事・掃除当番をはじめとするいろいろな当番・生徒会活動などはすべて役に立ちますので、しっかりと行っておいていただきたいと思います。そうすれば、おそらく社会に出て役に立つ人になり、自分自身にも社会で活躍できる力がつくのではないかと思います。
11. 最後に、勉強は何のためにするかということをお話します。私は、人生における選択肢を増やすためだと思います。勉強はすればするほど、人生における選択肢が増えるのです。私は大学のときに法律を勉強して司法試験を受けましたが、勉強の仕方があまり上手くなくて受けることができませんでした。学力が足らなくて、自分が法律家になるという選択肢を持つことができなかったのです。勉強して司法試験に受ければ、司法に関係する仕事に就くことができます。また、きちんと勉強して自動車の運転免許を取れば、自動車の運転もできます。ただし、運転免許を取るための試験に受からなければ、運転はできません。このように、勉強をして一定レベル以上の学力を身に付ければ、人生における選択肢が増えます。
12. 今日は、12月18日に東京都立日本橋高等学校で1年1組の皆さんにお伝えした内容を中心にお話しました。皆さんもぜひ、何のために勉強するのか、勉強する目的を自分の体験や経験を踏まえて、子どものたちにお伝えいただければと思います。